

様式 4

## 平成 26 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 27 年 4 月 1 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類・教授

申 請 者 名 鈴木 庸裕

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 ( 学 会 等 )
事業名	学校福祉学術セミナー 「子どもの貧困とスクールソーシャルワーカー」 主催 日本学校ソーシャルワーク学会東北部会
事業実施期間	平成 27 年 3 月 21 日
成果の概要	<p>子どもの貧困防止対策に関する法律が動く中で、子どもの貧困問題について、「困難を背負う子どもたちの声なき声」をいかに拾い出していくのか。この課題について、教育、福祉、司法、医療、保健を問わず、東北の様々な専門職が 70 名集まり、子どもの貧困問題について議論することができた。特に、スクールソーシャルワーカーの実践が目される中で、貧困問題と学校のあり方について『子どもたちとつくる貧困とひとりぼっちのないまち』の著者でもある幸重氏よりアクティブな実践的提起を多くの参加者で共有することができた。</p> <p>参加者のなかには、福島県教育委員会や県内外の教育委員会の指導主事や教師も多く、学校や教師の、「家庭の生活困窮」をめぐるあり方など、深めることができた。</p> <p>当日、実践セミナーや貧困課題とスクールソーシャルワーカーの役割についての講座などを組み入れ、「貧困と家庭支援をめぐる今日的課題」の基礎的な理解も図ることができた。</p> <p>東日本大震災後の生活復興と子どもの生活問題のテーマと響き合いながら、本学会セミナーは震災から 5 年目を迎える今を考える大切な機会となった。</p>